

平成24年6月定例議会が6月4日に開会され、市長と教育長が行政報告を行いました。このページからは、その要旨を紹介いたします。なお全文は市ホームページで紹介しています。

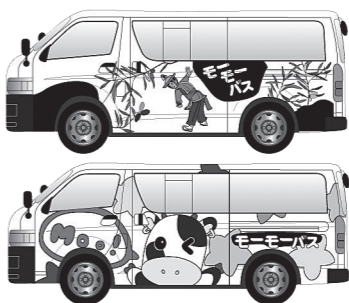
はじめに

先日、政府から再生可能エネルギーの固定価格買取制度の概要が示されました。本市にとっても影響のあるものと捉え、今後の動向を注視しながら、スマートコミュニティ構想の推進などの政策決定に生かしていきたいと考えています。

デマンドバスの説明会を実施

「モーモーバス」(瀬戸内市デマンドバス)の利用説明会を、4月23日から6月8日まで牛窓地域の34自治会で開催し、利用促進のためのPRを行っています。

5月21日現在、21自治会で335名の参加があり、利用方法などの説明と併せて、意



「モーモーバス」(瀬戸内市デマンドバス)

見や要望を聞いて、改善などの検討も行っていきます。

大学との包括連携協定

5月11日に就実大学・就実短期大学と包括連携協定を締結しました。

同大学とは、教育、文化、保健、医療などの分野におけるお互いの人的・知的資源および研究成果の交流・活用を目的として、主に教育分野、

保健福祉分野での連携事業を行います。

また、昨年7月に包括連携協定を締結した岡山商科大学とは、デマンドバス実証運行に伴う調査や観光情報発信事業などの連携事業を今年度から行う予定です。

市民活動応援補助金申請状況

平成24年度市民活動応援補助金のうち市民活動団体分については、45団体から50事業の申請がありました。

市民活動応援補助金審査会で審査の結果、43団体46事業19,825千円の事業採択を行っています。

自治会および自治会の連合体への補助金については、申請期限を9月28日までとしています。5月21日現在で10自治会から申請を受けています。

旧香川邸(御茶屋跡)の活用

牛窓町牛窓西町にある旧香川邸(御茶屋跡)については、景観保全や歴史的建造物であることを考慮しながら、売却も含め活用を検討しています。



旧香川邸外観(一部)

用語の解説・備考

瀬戸内市デマンドバス
利用者の予約に応じて、自宅または近くの「のりば」まで車両が迎えに行き、希望する目的地まで運行する乗合型のバス。7月1日から実証運行が始まる。

旧香川邸(御茶屋跡)

岡山藩により建造された公邸別館「御茶屋」は、朝鮮通信使、幕吏、西国諸侯などの接待や藩主の保養などに使われた。

廃藩置県後は牛窓町が引き継ぎ、明治18(1885)年には分割され民間に払い下げられた。翌年、払い下げを受けた香川真一氏が自邸を建築した。

その後、錦海塩業(株)が所有し、平成22年12月に錦海塩田跡地とともに市が取得した。

まちづくりプラザの移転

前年度から邑久町豊原地内の空き店舗を活用して事業を

展開している「瀬戸内市まちづくりプラザ」について、家賃などの問題から移転を計画しています。

邑久町総合福祉センターを移転先の候補地として、現在、瀬戸内市社会福祉協議会と協議を行っています。



邑久町総合福祉センター

正廃止に向けて、引き続き最善の努力をしていきます。

跡地の活用については、昨年9月に設立した「錦海塩田跡地活用検討委員会」で、跡地活用の方向性の大枠を示すことを目的として会議を重ね、作業を進めているところです。

4月24日に開催した第5回目の検討委員会で、跡地活用の基本構想の骨子が承認されました。次回6月26日開催の検討委員会では、基本構想(案)を提示し、委員の皆さんから意見を頂きながら、その完成を目指したいと考えています。

その後、基本構想の内容を実現させるため、利用方針、技術手法、事業手法・体制、必要経費などについての基本計画を取りまとめていきます。

錦海塩田跡地活用の推進

錦海塩田跡地内の産業廃棄物最終処分場については、適正廃止の早期完了を目標に、公共工事発生残土を活用した覆土を行っています。前年度末までに、24,264立方メートルの土を搬入しました。本年度についても、一日も早い適

クリーンセンターかもめ改修工事

市内で発生する可燃ごみを市内で全量処理するため、本年度「クリーンセンターかもめ」の改修工事を実施します。7月から工事に着手、来年

3月に完成する予定です。着工から完成までの期間のうち約2カ月間は焼却炉の使用を停止しますが、その間は、岡山市の施設を利用できるよう依頼しています。

スマイルの指定管理者を選定

4月23日から5月8日まで瀬戸内市地域生活支援センタースマイルの指定管理者の募集を行い、3法人が現地説明会に参加しました。

そのうち申請があったのは1法人で、5月15日に指定管理者選定委員会を開催し、社会福祉法人関谷福祉会を指定管理者として選定しました。



瀬戸内市地域生活支援センタースマイル

同法人による管理運営は、10月1日からを予定しています。

上寺山楽々園の移譲先を公募

4月17日に説明会を開催したところ、5法人の参加があり、そのうち1法人から移譲の申請がありました。

今後、7月下旬までに審査を行い、移譲先事業者の決定を行う予定です。

児童虐待防止緊急強化事業

本市の児童虐待の実情については、前年度比で虐待事例が1.25倍(69件)、ハイリスク(虐待予備群)事例が2倍(50件)と急増しています。虐待防止の一環として、妊娠の届出時にアンケートを実施し、支援が必要な妊婦を早期に把握します。

また、妊婦の身体的、精神的安定などを目的として、妊娠時期に応じた適切な支援を行うための虐待防止支援マニュアルを作成する予定です。

邑久町総合福祉センター

瀬戸内市社会福祉協議会の本所があり、同協議会が所有する施設(邑久町山田庄)。大会議室、研修室、和室などは、申請により有料で使用できる。

基本構想の骨子

錦海塩田跡地活用基本構想を策定する上での要点。基本構想には、地域の資源・現状と課題・基本理念・将来像などを盛り込むこととした。

スマイル

障害者などの相談に応じ必要な助言などを行い、また、創作的・生産活動の機会を提供し、社会との交流を促進することで地域生活支援の促進を図る施設(邑久町山田庄)。

上寺山楽々園

身体上・精神上・環境上・経済的理由により居宅で生活することが困難な高齢者を対象にした養護老人ホーム(邑久町北島)。

ジョブスポットせとうちの相談者数

3月30日に開所した「ジョブスポットせとうち」の4月末現在の相談者数は、生活保護受給者20名、児童扶養手当受給者4名、障害者4名、一般の人44名の計72名でした。

8月に求人提供端末を導入する予定で、より充実したサービスを提供できるものと考えています。



ジョブスポットせとうち

消防活動マニュアルの見直し

近年の特殊災害事案は、複雑多様化するとともに大規模

化しています。

最近では、暴走車両による交通事故やツアーバスの単独事故により多数の死傷者が発生しています。また新たな脅威として竜巻が関東地方を襲いました。消防にはこれら各種の災害に即応した防災体制の充実強化が求められています。

以前から、集団事故や危険物などの特殊災害への対応は、各種災害活動マニュアルにより消防活動を実施することとし、これに基づき関係機関と集団事故に対応する合同訓練などを実施してきました。しかし、最近では消防防災施設も発達し、その活動内容に改善すべき点もあることから、本年度、この活動マニュアルの見直しを行い、更なる即時対応力の強化を図っていきます。

企業団地整備の進捗状況

長船町宮下地区の約3分の1の土地については、4月に農業振興地域からの除外が承認されており、6月に県

へ都市計画法に基づく開発申請を提出し、早ければ7月に農業委員会に対して農地転用の許可申請を行いたいと考えています。

次に、邑久町本庄福谷地区に計画している企業地、約1.3分の1の土地については、4月に農業振興地域からの除外が承認され、5月の農業委員会に農地転用の許可申請書を提出しています。農業委員会の許可が下り次第、用地買収に着手していく予定です。

また、邑久町豆田地区については、約5分の1の企業団地を計画していますが、地権者の了解を得て、現在、現地に入り、測量・設計の作業を実施しています。

新病院建設の進捗状況

新病院建設については、建設用地の測量が終わり、地質調査が5月末で完了しました。現在は造成工事の設計を行っています。

埋蔵文化財の調査については、試掘調査を行う予定です。



新病院建設の準備が進む瀬戸内市市民病院

また、用地については年末を目途に買収を行う予定です。基本設計については、8月末を目途に検討作業中であり、本年度末までに実施設計を完了する予定です。本設計では、昨年の東日本大震災を受け大規模災害に備えた備蓄倉庫、そして被災者の受け入れが可能なトリアージスペースを設けるように検討していきます。

病院の地方独立行政法人化

市民病院の地方独立行政法人化については、平成25年度を目安に移行を検討していますが、移行に向けて国、県

合唱の披露を行い、その後、美術館の見学も行いました。教育委員会では幌加内中学校の希望に沿って、今後この交流事業を継続していきます。

新図書館整備状況と図書館・室の取組

新図書館については、3月に「新瀬戸内市立図書館整備基本計画」を策定しました。策定の過程では、「としょかん未来ミーティング」と題した市民ワークショップを2回、またその特別編として、前総務大臣の片山善博氏を招いた講演会やシンポジウムを開催しました。

図書館・室の活性化を図るため、テーマ別展示コーナーの設置など魅力的な棚づくり、ホームページのリニューアルやツイッターによる各種情報提供などを開始しました。また、保育園、幼稚園への絵本の貸出サービスは、6月6日から、移動図書館車「せとうちまーる号」による運行を開始します。

特殊災害

大規模な被害をもたらす放射性物質による災害、生物剤または化学剤による災害、有毒ガスまたは毒劇物などによる特殊な災害事象。

試掘調査

土の中に埋まっている文化財（埋蔵文化財）の有無の確認や、埋蔵文化財包蔵地の範囲・性格などを把握するために、行なう調査。試掘溝を掘削した状況から、遺跡があるかどうか、遺跡であればその時代や性格、範囲などを把握する。

トリアージ

大災害によって多数の被災者が発生した際に、現場の人材・機材などを最大限に活用するため、どの負傷者から治療するかなどの優先順位を決めること。

水道料金の引き下げ

水道事業に関して調査と審議を行う水道事業審議会からの答申で、9月1日以降の早い時期において水道料金を5%程度引き下げることなどが求められていた。

処理施設増設予定地

浄化センターの敷地内にある用地。将来的な下水（排水）処理設備の増設に備えて、整備されている。

幌加内町

北海道にあり、東西約24^キ、南北63^キ、行政面積は767平方^キ、人口約1、700人の自治体。

町の周囲は国有林などの森林に囲まれ、山岳が多い地勢。内陸性で夏は高温多湿、冬は寒冷多雪で通年の寒暖の差、昼夜の気温差が大きい。

旧牛窓町が電話開通の記念通話が縁で交流を深め、平成元年に姉妹縁組を締結した。

新瀬戸内市立図書館整備基本計画

平成24年3月に策定した基本構想を基に、新瀬戸内市立図書館が、市民が憩い、安らぎ、暮らしを楽しむ公共空間として、まちづくりに役立つ地域の情報拠点となるための機能とサービスを示す計画。

メーターの検針と水道料金の引き下げ

水道メーターの検針について、5月検針分から2カ月検針を実施しており、水道料金と下水道使用料が6月納付分から2カ月徴収に変更となります。

また水道料金の引き下げは、9月検針・10月請求分からとなります。

浄化センター増設予定地の有効利用

邑久浄化センター（邑久町豊原）の処理施設増設予定地について、次期処理施設の建設着手までの間、生涯スポー



幌加内中学校が瀬戸内市教育委員会を表彰訪問



金澤翔子氏席上揮毫